

平成19年9月期決算の概要【損益、資産・負債等】

【経営計画】

◇20年3月期の見通しは『業務粗利益は18年度を下回らない水準、業務純益は老朽化・陳腐化したシステムの更改等のコスト増加もあるが400億円を超える水準を、それぞれ見込んでいる』（H19.5.21履行状況報告）としておりましたが、ラウンドでの計画数値は下表記載のとおりです。

【損益の特徴】

- ※1. <資金利益>貸出金等による資金運用収益に比べ、預金や市場調達による資金調達費用が金利上昇の影響を大きく受けたことから、前年同期比▲13億円となりました。
- ※2. <不良債権処理関係>実質信用コストはほぼ前年並みとなりました。今中間期では、倒産の発生による償却のほか、貸金業法や建築基準法の改正等を踏まえた自己査定を行いました（貸出金償却39億円、個別貸倒引当金繰入14億円）。一方、一般貸倒引当金の取崩し（33億円）や償却債権取立益（22億円）を計上したことから、不良債権処理全体では2億円のプラスとなりました。

（単位：億円）

	18/9期 実績	19/9期 実績	18/9期比	20/3期 計画	計画対比
（収益）					
<計画比（%）>					
業務粗利益	431	421	▲10	860	48.9%
資金利益	358	344	▲13	715	48.1%
役務取引等利益	67	69	2	140	49.2%
その他業務利益	5	6	1	5	120.0%
経費	(-)202	(-)210	(-)8	(-)440	47.7%
人件費	(-)95	(-)99	(-)3	(-)200	49.5%
物件費	(-)87	(-)91	(-)4	(-)210	43.3%
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—	—	—
業務純益	229	210	▲19	420	50.0%
実質業務純益	229	210	▲19	420	50.0%
不良債権処理損失額	(-)23	(-)39	(-)15	(-)50	78.0%
株式等関係損益	▲0	10	11	—	—
経常利益	237	177	▲60	370	47.8%
特別損益	27	35	7	—	—
中間(当期)純利益	264	212	▲52	370	57.2%
(注)実質信用コスト＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理損失額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益					
実質信用コスト(注)	(+)3	(+)2	▲1	(-)50	—
（経営指標）					
<計画差>					
貸出金利回	2.03%	2.20%	0.17%	2.26%	▲0.06%
有価証券利回	1.10%	1.03%	▲0.07%	1.16%	▲0.13%
国内預金利回	0.05%	0.21%	0.16%	0.21%	0.00%
国内預貸金利回差	1.97%	1.99%	0.02%	2.04%	▲0.05%
OHR	46.81%	50.04%	3.23%	50.77%	▲0.73%
ROA	1.12%	1.01%	▲0.11%	1.03%	▲0.02%
不良債権比率(リスク管理債権)	7.13%	5.10%	▲2.03%	5%程度	—

※20/3期計画はラウンド表示しております。

【資産・負債等の状況】

- ※3. 住宅ローンや法人向け貸出が堅調に推移したことから、正常債権の貸出金残高は、18年9月末比3.4%の増加となりました。
- ※4. 不良債権(リスク管理債権)残高は、同比27.4%減少いたしました。不良債権比率は、同比2.03%低下し、5.10%となりました。
- ※5. 地方公共団体等の預金は減少したものの、個人預金と法人預金の合計が18年9月末比1.3%増加したほか、預り資産残高も同比25.1%増加しました。これにより、預金と預り資産の合計残高は、同比2.7%の増加となりました。
- ※6. こうした結果、株価下落による有価証券含み益の減少があったものの、債務超過額は、2,900億円に圧縮となりました。
(19年3月末比圧縮額148億円＝19年9月期中間純利益212億円－有価証券評価差額金等減少額63億円)

（単位：億円）

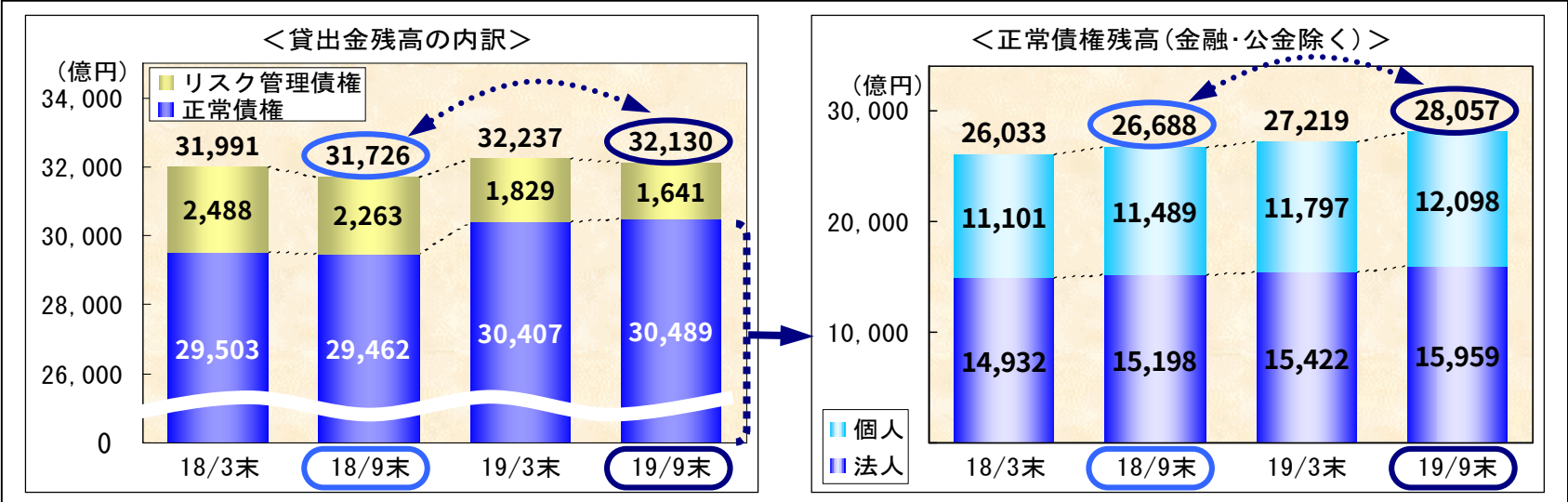
	18/9末 実績	19/9末 実績	18/9末比	19/3末 実績
（資産の部）				
現金預け金	910	822	▲88	824
コールローン	332	501	169	960
有価証券	8,848	8,760	▲87	8,763
貸出金	31,726	32,130	404	32,237
正常債権	29,462	30,489	1,027	30,407
リスク管理債権	2,263	1,641	▲622	1,829
貸倒引当金	△1,467	△869	(-)597	△950
その他	1,176	990	▲185	1,109
資産の部合計	41,526	42,336	809	42,944
（負債の部）				
預金	42,164	42,205	40	43,187
うち個人預金	29,170	29,593	423	29,465
うち法人預金	9,063	9,167	104	8,768
うちその他	3,930	3,443	▲486	4,953
市場調達(コールマネー等)	1,884	2,125	240	1,892
その他	1,080	905	▲174	913
負債の部合計	45,129	45,236	106	45,993
(注)預り資産残高＝投資信託＋債券＋保険				
預り資産残高(注)	4,954	6,198	1,244	5,665
（純資産の部）				
資本金	1,474	1,474	—	1,474
利益剰余金	△5,429	△4,716	(-)713	△4,928
中間(当期)純利益	264	212	▲52	766
その他有価証券評価差額金等	352	341	▲11	405
純資産の部合計	△3,602	△2,900	702	△3,048

※6

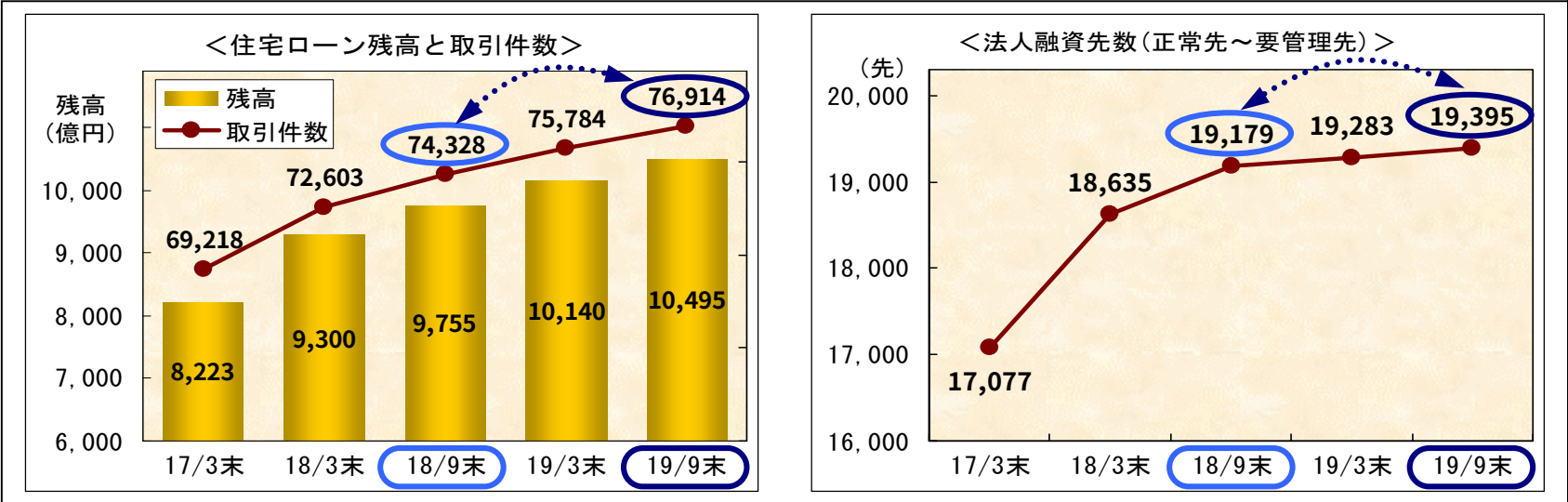
平成19年9月期決算の概要【主なポイント】

1. 貸出金の状況

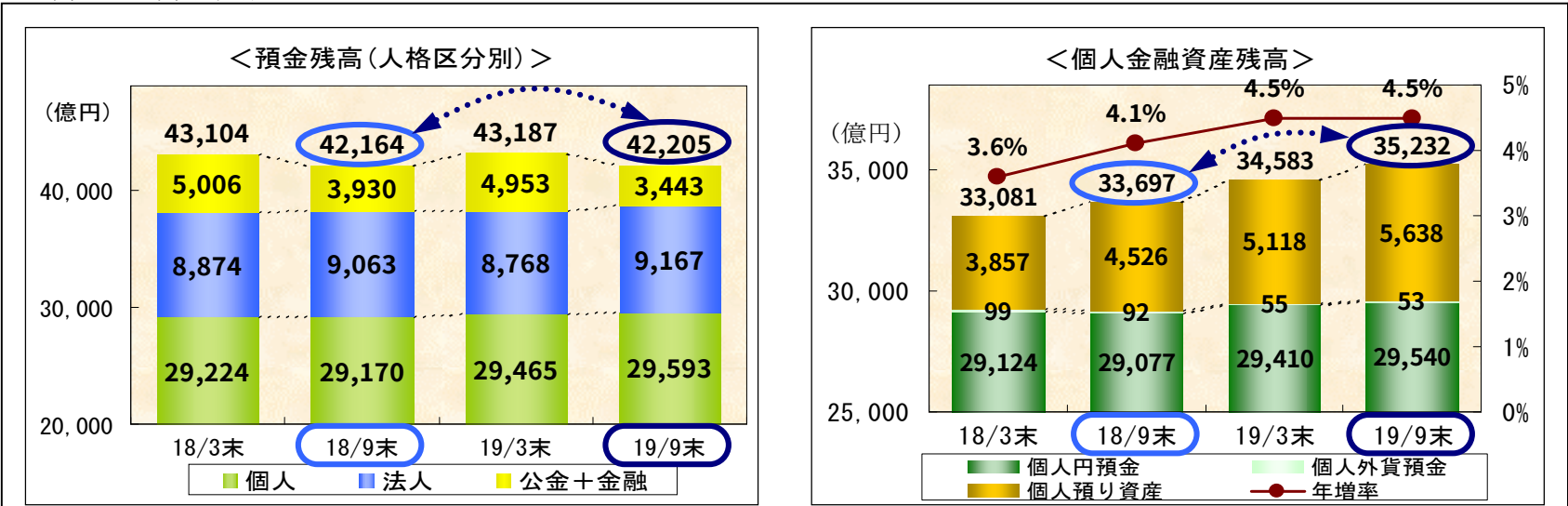
(1) 貸出金残高の推移



(2) 住宅ローン・法人融資先数

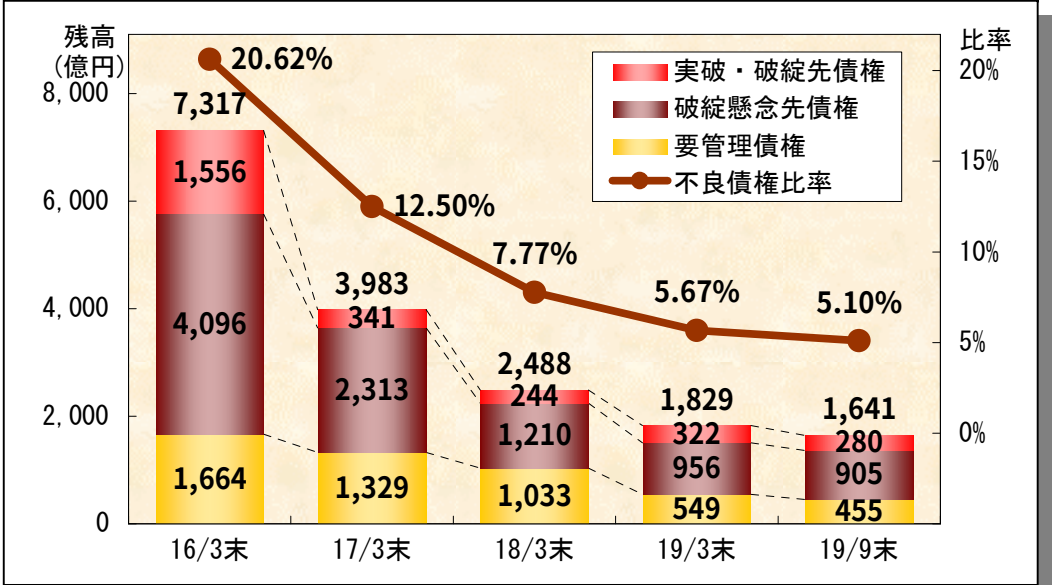


2. 預金・預り資産の状況

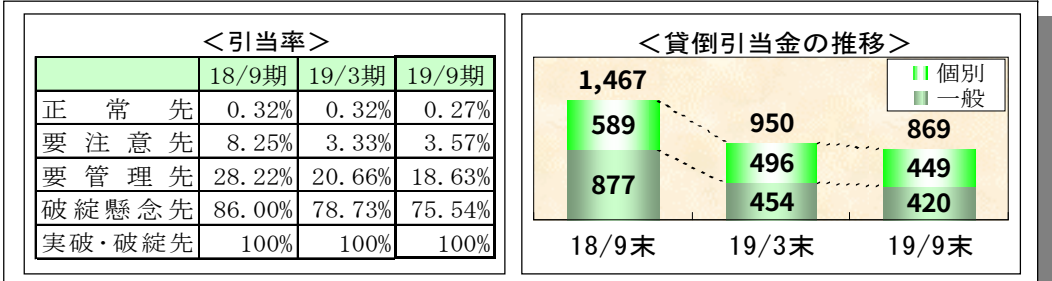


3. 資産の健全化

(1) 不良債権残高と比率の推移(リスク管理債権ベース)



(2) 貸倒引当金



(3) 企業再生支援取組み先数

	16年度	17年度	18年度	19年度(上期)	累計	継続中
産業再生機構(I R C J)	13	—	—	—	13	—
整理回収機構(R C C)	9	5	4	2	20	1
中小企業再生支援協議会	22	37	30	2	91	21
その他(私的整理がトライ等)	1	1	3	—	5	—
合 計	45	43	37	4	129	22

※個社単位による先(社)数を表示。また、他行主導や公的機関を活用しないスキームによる再生支援先を含んでおります。

4. 行員数の推移

